

英地  
流  
時  
代  
鏡

三十一編上

春水作  
國貞画

Gōkan: (No. 01)  
Jidai Kagami.  
Part 4. Book

~ 13  
3740  
61



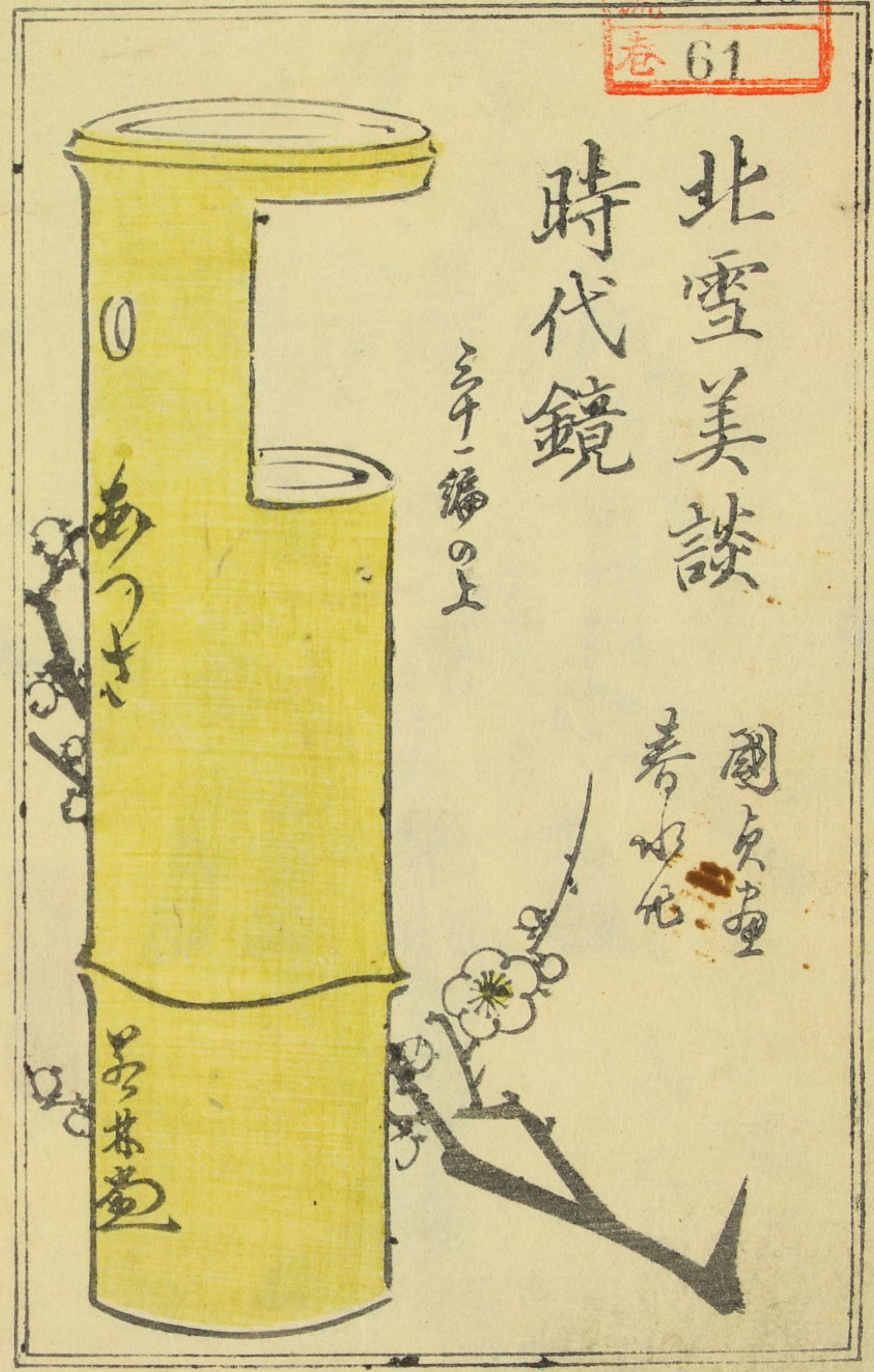
門 へ13  
 3740  
 卷 61

北雪美談

時代鏡

三年二編の上

國貞堂  
 考也



一

本傳既も發行せりより料らむ看ん官の愛顧と得える。  
 書肆の米甕を販つまふ人も更も刷り輯を促もす。  
 性急小しく虚き日ひあらず素そより這この起こるこも聊ち々  
 撮とりしるこの或ハ孝子或ハ賢妻又ハ淫婦  
 又ハ奸賊總々々作者の胸間より振ふり出でせる物も燈下  
 小睡をさするこの追お綴りと責を塞まぐこの今ヤ二二編  
 の稿を成すれと名を遂げるこの身退くべ死時に到りらねハ笑ひと  
 後に残りしる自序す

文久甲子歳且



爲永春水記



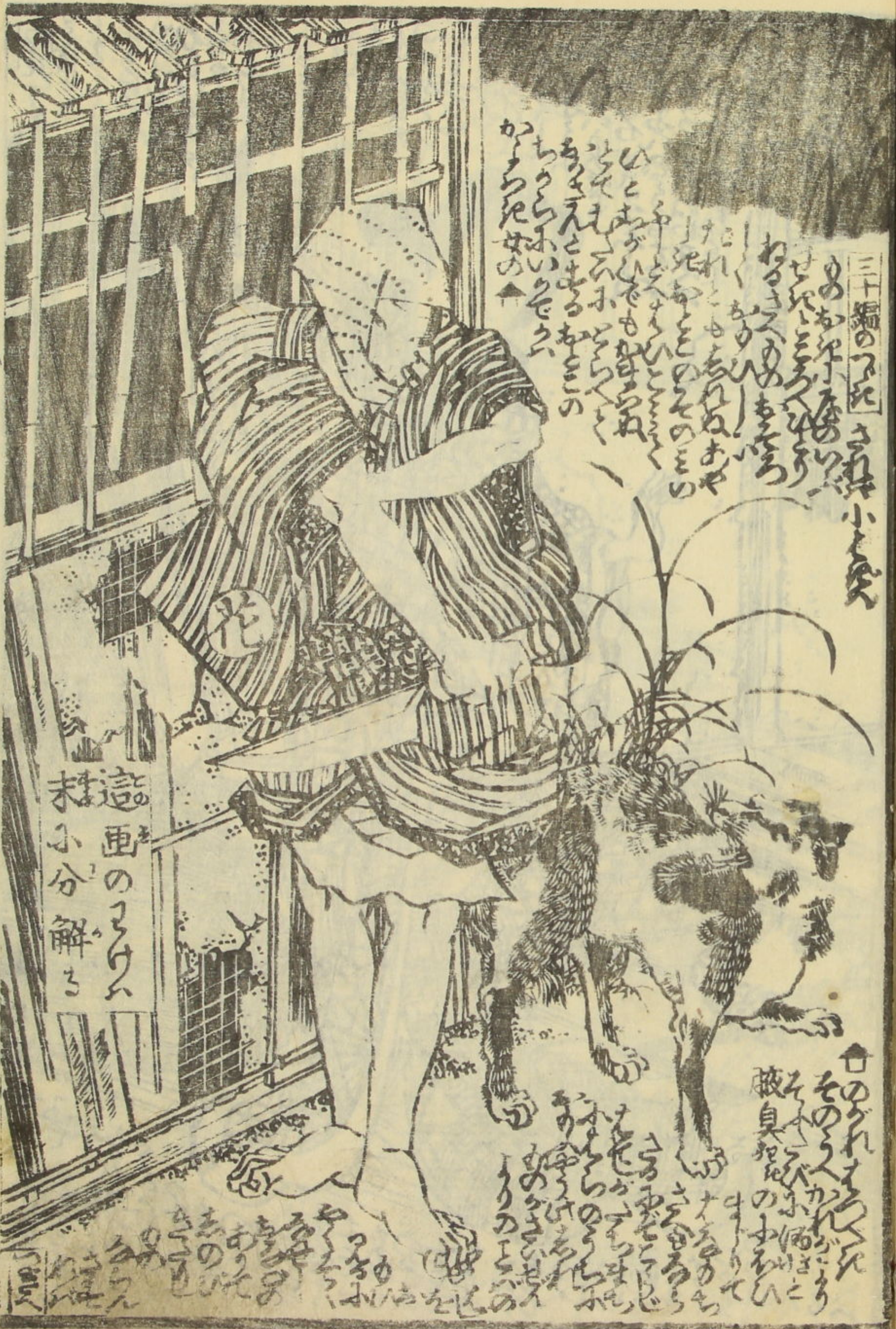
寺  
三十一

白雨の  
阿无羅



雲間の  
格妻

甲  
三十一



三十七編のついでさし  
 めいおひつりさけり  
 せいのるゝもくまろ  
 おろさのめいさち  
 けいれいもあはれ  
 けいれいもあはれ  
 けいれいもあはれ  
 けいれいもあはれ  
 けいれいもあはれ  
 けいれいもあはれ  
 けいれいもあはれ

這面のかつ  
 村小分解

そのかれえい  
 そのかれえい  
 そのかれえい  
 そのかれえい  
 そのかれえい  
 そのかれえい  
 そのかれえい  
 そのかれえい  
 そのかれえい



雷の  
 阿怒路

甲  
 十一  
 三



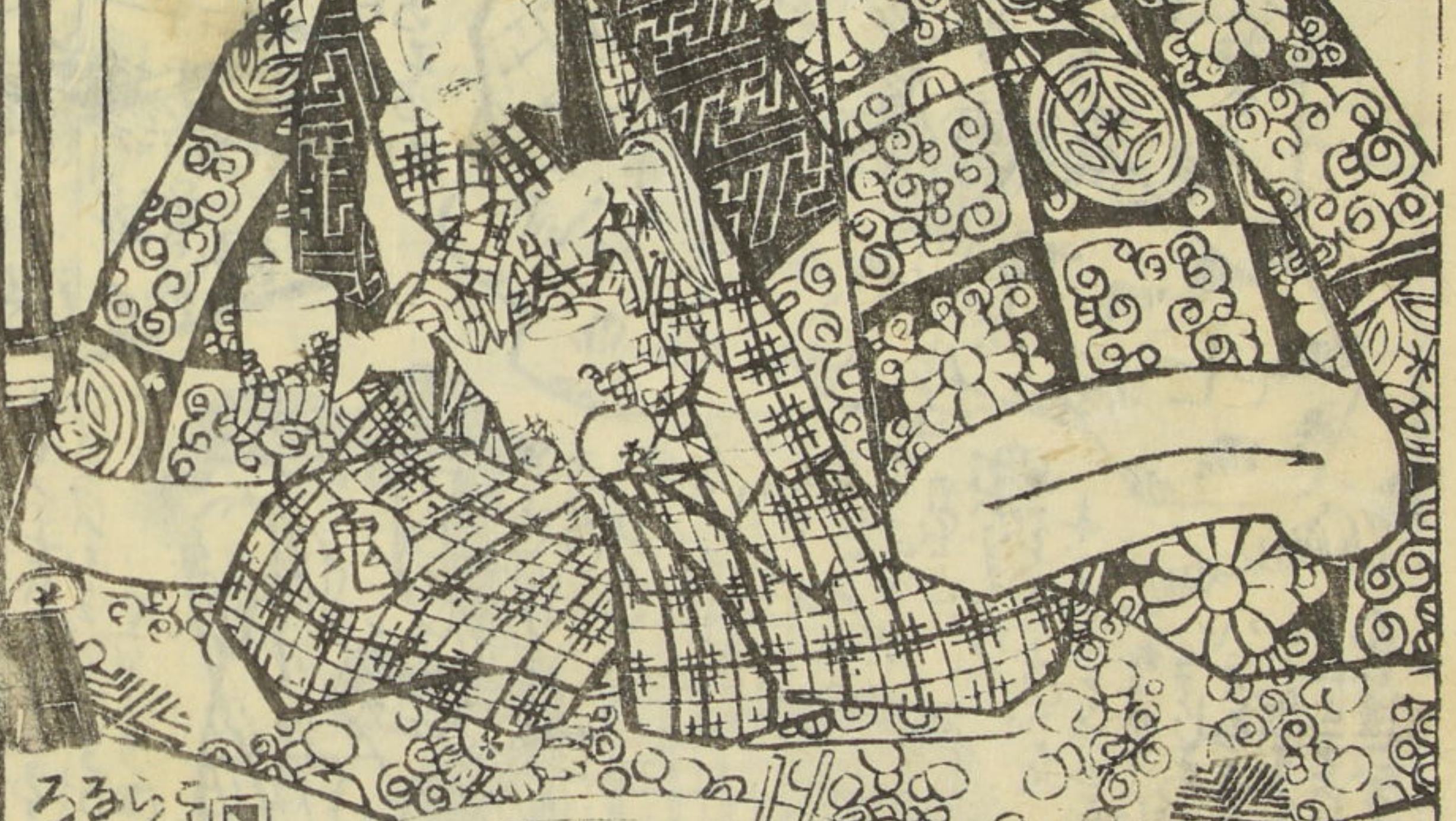








此の物語は  
 昔の事なり  
 今も昔も  
 人の心は  
 変わらぬ



此の物語は  
 昔の事なり  
 今も昔も  
 人の心は  
 変わらぬ

此の物語は  
 昔の事なり  
 今も昔も  
 人の心は  
 変わらぬ



此の物語は  
 昔の事なり  
 今も昔も  
 人の心は  
 変わらぬ





# 春水作國貞画

春水作國貞画の巻頭文  
 此の巻は、春水作國貞の筆による、  
 江戸の風流を写したものである。  
 巻の初めに、春水の自序があり、  
 巻の終りに、國貞の跋がある。  
 巻の内容は、江戸の風流を写した  
 ものである。巻の初めに、春水の  
 自序があり、巻の終りに、國貞の  
 跋がある。巻の内容は、江戸の風流  
 を写したものである。



春水の自序  
 國貞の跋  
 江戸の風流を写したものである。

## 風流画半切

越前奉書紙  
 伊豫奉書紙

縮じらぬ半切  
 〇〇〇〇〇〇

### 狂齋百圖全

洞都画

### 新編 狂齋百圖

新編 狂齋百圖

### 忠臣義士銘傳

一編 齋芳虎画

右の巻は、あねえの巻である。  
 左の巻は、あねえの巻である。  
 右の巻は、あねえの巻である。  
 左の巻は、あねえの巻である。

目録  
 巻の初めに、春水の自序があり、  
 巻の終りに、國貞の跋がある。

當年 新板 春水作國貞画

春水作國貞画の巻頭文  
 江戸の風流を写したものである。  
 巻の初めに、春水の自序があり、  
 巻の終りに、國貞の跋がある。

春水作國貞画の巻頭文  
 江戸の風流を写したものである。  
 巻の初めに、春水の自序があり、  
 巻の終りに、國貞の跋がある。

